

学校だより

風薫る安芸の小富士をバックに屋上で奇麗に咲く

ヒラドツツジ



明るく 元気に たくましく

令和元年6月3日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101 E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102 ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

新元号「令和」の時代が幕を開けました。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」この元号に込められた願いどおりに、「平成」に生まれ育った子どもたちの大切な命が、「令和」で明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせ、光輝くことを願います。

さて、5月26日全国的に気温が上昇し、北海道佐呂間町で39.5℃の北海道史上最高気温を5月で記録したと報道されていました。昨年の西日本豪雨も間もなく1年を迎えます。これから梅雨に入り、気温や湿度の上昇とともに熱中症や大雨等に対しても十分に警戒する必要があります。児童生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、職員一同細心の注意を払ってまいりますので、御家庭におかれましても十分気を付けていただきますようよろしくお願いいたします。また、食中毒等、体調を崩しやすい時期です。児童生徒と共に私たち大人も食事や睡眠時間をしっかりと、規則正しい生活を心掛けたいものです。

6月7日(金)9時50分~12時20分(予備日6月10,11日)に高等部体育祭を举行します。広島市教育長 糸山 隆 様、教育次長 荒瀬 尚美 様を始め多くの御来賓の方々に御来校いただく予定です。

小・中学部の保護者の皆様方にも、温かい御声援を送っていただきますようよろしくお願いいたします。

□ 定期健康診断

現在、定期健康診断が行われており、森 美喜夫 学校医を始め、各校医の先生方には懇切丁寧に診ていただき大変お世話になっているところです。この健康診断は、学校教育法第12条の他、学校保健安全法等で規定されており、児童生徒の健康の保持増進を図るため、6月末日までに実施することになっています。

児童生徒の検診においては、絵カードや写真カード、補助具等を活用しながら受診に対する心構えや方法等の事前学習を周到に行うことで、見通しをもって検診に臨んだり、健康に対する意識を高めたりできるよう努めています。なお、検診の結果、所見があった場合はお知らせしますので、できるだけ早めの受診をお願いいたします。



(福原学校医による整形外科検診)



(上田学校医による歯科検診)



(松田学校医による神経科検診)



(佐久間学校医による眼科検診)

□ PTA総会開催

5月16日(火)に平成31年度PTA総会を開催しました。お忙しい中、107名の保護者の方に御参会いただきました。総会におきまして、平成30年度事業報告、会計報告、平成31年度の事業計画、予算案は全て承認されました。総会を欠席された方は、お配りしております総会資料を御覧ください。

その後、「子どもたちと共に」と題して私の講演の時間もいただきました。「子どもたちは限りない力をもっている。子どもたちが主体的に授業や活動に取り組めるように専門性の向上に努め、子どもたちがもてる力を最大限に発揮できるように、全教職員で努力をしていく。」決意を述べさせていただきました。

久保会長を始め、これまで旧役員の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。引き続きお世話になる役員の皆様、また今年度からお世話になります新役員の皆様、今後ともPTA活動の充実に向け、お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。来年度の10月2日(金)3日(土)には中四国PTA連合研究協議会を本校が事務局校として本校を会場に開催します。PTAコーラスも発足しました。様々な形で気軽にPTA活動に参加していただき、気運が高まっていくことを願っています。

この日は制服リサイクル展示も行いました。不要になった制服や体操服を職業コースのクリーニングサービス班が奇麗にクリーニングしサイズ表示した物を御希望の方にお譲りしました。提供していただいた皆様、ありがとうございました。



大盛況の制服リサイクル展示



久保会長を始め、新役員の力強い御挨拶

□ **避難訓練**

5月15日（水）、地震・津波を想定しての避難訓練を実施しました。今年度は地震によって火災が発生したことも想定し、新しい消防計画に基づき、初期消火訓練も行って役割を確認しました。本部を事務室に設置し、様々な情報から安全な避難経路を瞬時に判断して屋上への避難を指示しました。消防署への通報、初期消火、逃げ遅れた児童生徒と教職員の確認等も屋上に設置した本部と連携を取りながら本番さながらに行いました。屋上に避難した後は、児童生徒の心身の安全確保のために二次避難ということで校舎3階各特別教室に学部ごとに避難をしました。避難訓練が苦手な児童生徒が多い中、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を守って落ち着いて避難することができました。



机の下に入り頭を守る小学部児童

平成25年度に広島市が出した地震被害想定では、南海トラフ巨大地震、安芸灘～伊予灘～豊後水道地震、安芸灘断層群による地震で南区は最大震度6弱、液状化は66.3%、津波浸水は47.0%（ともに面積割合）に及び、津波の高さは最高で1.5m（海拔3.6m）を想定しています。本校は海底30m程の岩盤に長さ38m、332本の杭が深々と打ち込まれて校舎は支えられています。液状化は起こっても建物が倒壊することはありません。また、地上から本校3階床までの高さは7.7mですので3階への避難により津波を確実に避けることができます。

西校舎においても、建築基準法第20条による構造耐力について、恒常的な建物に比しても緩和されているものがなく、耐震性は耐震基準に適合しており、その「確認済証」は南区建築課によって審査・確認済みです。

今後も三次避難や備蓄等の充実に向けての取組を進めるとともに、常に危機意識をもち、適切な判断ができるようにしていきたいと考えています。

□ **中学部第3学年「修学旅行」**

中学部第3学年は、5月22日（水）～24日（金）に、神戸方面へ修学旅行に行きました。41名の生徒が参加し、全員が元気に帰ってきたことを何よりもうれしく思います。3日間の活動を終え、広島駅に戻って来た生徒の心地良い疲れとともにやり切った満足感や自信あふれる表情を見ると修学旅行の目的である、一人一人が友達と活動を共にし、感動を共有する喜びを味わうこと、新しい経験を通して生活経験を更に広げることができたのだと確信しました。学年全体での修学旅行は生徒実態が違う中で、難しさもありますが、今年度は2日目に「キッズニア甲子園」での仕事体験をメインの活動とし、教師が何度も計画を検討して臨んだ修学旅行でした。都会をイメージした空間で、見学者も多く様々な音が交錯する環境の中での活動でしたが、生徒たちは生き生きと「仕事」に取り組み、大きな達成感を味わったようです。広島市教育委員会の施策によって、本年度も、医師、看護師が同行し、健康、安全等にも充分配慮し、教育効果を十分挙げることができた修学旅行だったと思います。多くの貴重な経験をこれからの学校生活に生かしてほしいと願っています。



キッズニアで様々な仕事体験とイルカショーを楽しむ訪問学級の福田さん

修学旅行に向けて、保護者の方が健康面で細心の注意を払ってくださったことに深く感謝申し上げます。

□ **水泳指導開始**

5月10日（金）から水泳指導が始まりました。待ちに待っていた児童生徒も多いのではないかと思います。不測の事態にも迅速に対応できるように心肺蘇生法・AEDによる救急法についての研修も全教員が5月22日までに終わりました。右の写真は今年度初プールの小学部第3学年の授業の様子です。

水温は年間を通じて30℃前後に設定します。水泳指導は、これから11月29日（金）まで各学年等で行います。



□ **学校周辺清掃**

5月21日（火）教職員による地域清掃を行いました。学校周辺の道路、植え込み、歩道のごみを拾いました。高等部生徒が行っている「出島クリーン作戦」に負けじと初夏の日差しの中、たくさんのごみを持ち帰りました。いつもお世話になっている出島地域。大きな空と海に面する素敵な環境を美しく保っていききたいと思います。



□ **高等部生徒会「挨拶運動」**

5月27日（月）～31日（金）の間、高等部生徒会役員を中心に朝の挨拶運動が行われました。「おはようございます。」と大きな声で朝の挨拶をする高等部の生徒たちに負けず、みんな大きな声や動作、表情などで挨拶を返していました。挨拶は社会生活の基本で大変重要なコミュニケーションの一つです。

学級でも、常日頃からキャリア学習や自立活動を中心にして挨拶の指導を行っています。教職員も、児童生徒の模範となるような明るい挨拶を心掛けていきたいと思っています。



心を込めると気持ちに通う

□ **御来校いただいた方々（教育相談での見学は除いています。）**

日付	団体名等	人数
5月15日（水）	2020第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会事務局	3名
5月18日（土）	施設対抗親善球技大会	330名
5月21日（火）	カンナプロジェクト 橘 凜保 様他	4名
5月29日（水）	広島県特別支援学校美術・工芸展実行委員会	45名
5月29日（水）	広島県健康福祉局長 田中 剛 様他	3名
5月30日（木）	広島大学大学院教育研究科教職開発専攻学生・鈴木 由美子 教授他	24名

